

# 第 92 回宮崎大学眼科研究会

日本眼科学会専門医制度生涯教育認定事業 (59046)

◆日 時：令和 5 年 7 月 29 日 (土) 16:10～19:00

◆会 場：宮崎観光ホテル 東館 2F「紅日向」

〒880-8512 宮崎市松山 1-1-1 TEL：0985-27-1212

◆会 費：2,000 円

— 日本眼科学会専門医制度登録証 (カード) を必ずご持参ください。 —

## ～ プログラム ～

【宮崎大学医学部眼科学教室同窓会総会】 16:10～16:30

【宮崎県眼科医会保険研究会】 16:30～16:50

『全国審査委員連絡協議会報告』

川原眼科 院長 川原 亮輝 先生

【特別講演】 16:50～19:00

特別講演 I 16:50～17:50 座長 宮崎大学眼科 准教授 中馬 秀樹

『宮崎大学医学部附属病院 眼科専門外来の症例から』

宮崎大学眼科 中馬 秀樹 先生 日高 貴子 先生 梶原 夏輝 先生

～ 休 憩 17:50～18:00 ～

特別講演 II 18:00～19:00 座長 宮崎大学眼科 教授 池田 康博

『最近の眼瞼下垂手術のトレンドとその裏側』

大浜第一病院／聖隷浜松病院／安里眼科 眼形成眼窩外科 嘉鳥 信忠 先生

※コロナ感染拡大防止対策を取らせて頂いております。(ソーシャルディスタンスを考慮した配置)  
アルコール消毒・マスク着用の御協力何卒宜しくお願い致します。

## 特別講演Ⅰ 16:50～17:50

### 『 宮崎大学医学部附属病院 眼科専門外来の症例から 』

宮崎大学眼科 中馬 秀樹 先生 日高 貴子 先生 梶原 夏輝 先生

黄斑変性外来は、2020年5月より設置され、加齢黄斑変性を中心に診療をおこなっております。診察後に、外来処置室で硝子体内注射を行うことで、患者さんの負担の軽減し、視機能の維持を目標に診療を行っております。また、病診連携にも力を入れております。

今回、当外来の現況と病診連携の状況について紹介し、さらに光線力学療法（PDT）を施行した最近の症例などについて報告いたします。

緑内障専門外来を2020年4月より開始し、昨年度からは新患にも対応するようになりました。毎週月曜日に池田教授、日高をはじめとする数名で診療を行っております。昨年度は200例を超える症例を御紹介頂きました。本日は、代表症例を提示しながら、診療の方針や手術件数などについてご紹介したいと思います。

小児・神経・斜弱外来：各種症候群、先天異常、精神発達の遅れ、未熟児網膜症後なども含まれる多種多彩な疾患群を、小児・斜視弱視症例は、先日提示した宮崎モデルを用いることにより、神経眼科疾患は神経眼科スクリーニング検査を行うことにより、初期研修医からフェローまで、効率的に、細かな異常を見落とすことなく診療を進めていっている。全症例、必ず最後にチーフのチェックを受け、振り返りをするようにしている。近年経験した症例や、斜視の治療成績について供覧する。

## 特別講演Ⅱ 18:00～19:00

### 『 最近の眼瞼下垂手術のトレンドとその裏側 』

大浜第一病院／聖隷浜松病院／安里眼科 眼形成眼窩外科 嘉鳥 信忠 先生

眼瞼下垂手術は昨今、一般眼科でも広く行われている手術であり、大変有用な手術であることは、周知のとおりです。かつて、下垂手術の習得には、相当な修練が必要とされ一般眼科医には敬遠されがちなシロモノでありましたが、今日の情報社会においては、多くの成書や動画配信で容易に閲覧できるようになってきたため、多くの施設やクリニックで広く普及されてきています。

しかしながら、いつでも手軽に、「How to」が手に入れることはできるようになったといっても、それだけでは、すべての症例に対し、常に安定した結果が出せるかということ、それほど単純なものではないと思います。実際、お手軽さや、華やかな結果のみを強調している「How to」指南シリーズほど、「手抜き手術」、「過剰手術」や「不適切手術」などの合併症は多く、また「望まぬ結果」が出ても、その対応については提示されることが少ないように思います。

では、いったいそれぞれの眼瞼下垂手術の、何が良くて何がいけないのか？どの手術が正解なのか？ということになりますが、本講演では、お聴きになっていただいた先生がご自身で、その答えを出していただくこととし、その結論を導き出す一助となるようなコンテンツをお伝えしたいと思います。具体的には、「加齢による解剖学的構造の変化」、「眼瞼下垂手術の種類とその適応」、「眼瞼と眼球の関係は密な関係」、「眼瞼下垂手術の合併症とその対策」を症例供覧しながら、それぞれの病態・病因に対して、演者がどのように考え、再建・修復したのか、また演者自身が学んだこと、教訓として肝に銘じたことなどを話す予定です。

近年、商業ベースでの眼形成手術がもてはやされ、整容的な手術というイメージが先行しがちですが、機能面での改善や効果について、眼瞼手術の本質を、本音でお伝えしたいと思っています。本講演をお聞きになられて、自信をもって「ご自身の答え」を出していただければ幸いです。